

資料2：Active Xコントロールの設定変更方法

Active Xコントロールの設定変更手順を示します。設定変更手順は、Excelのバージョンによって異なります。以下の手順は、Excel 2010、2013となりますので、それ以外のバージョンの設定変更手順については、マイクロソフトのホームページをご参照願います。Excel 2003、Excel 2000は設定変更は不要です。

なお、マクロ・Active Xコントロールの設定を正しく実施すると、ツール起動時に以下のような警告メッセージが表示される場合があります。

セキュリティの警告 一部のアクティブコンテンツが無効にされました。クリックすると詳細が表示されます。 コンテンツの有効化

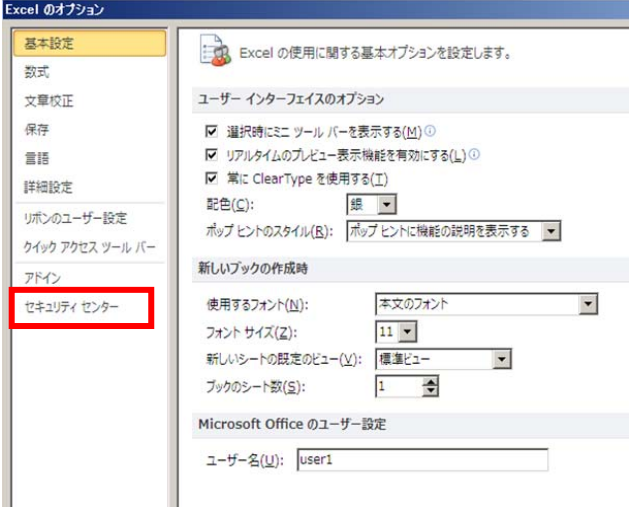


また、インターネット上からダウンロードしてツールを取得した場合も以下のような警告メッセージが表示される場合があります。

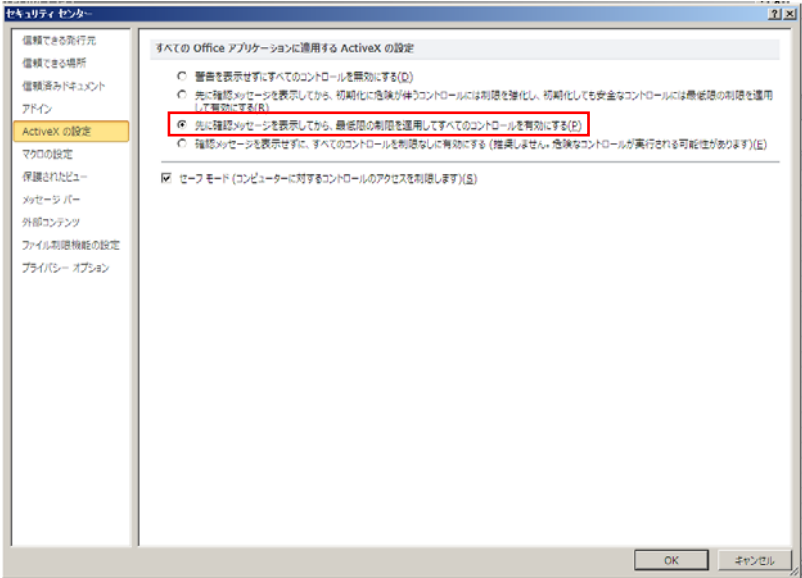
保護されたビュー このファイルは、インターネット上の場所から取得されており、安全でない可能性があります。クリックすると詳細が表示されます。 編集を有効にする(E)

警告メッセージはExcelのバージョンによって表示内容や表示箇所(画面上部・画面下部・ポップアップメッセージ)が異なります。いずれの場合も、警告が表示された状態では機能が無効化されておりますので、画面指示に従い、有効にする操作を実施してからツールを使用してください。

(1) 設定変更手順 (Excel 2010、2013の場合)

項番	手順	画面
1	Excelを起動する	
2	「ファイル」を選択する	
3	「オプション」を選択する。	

項番	手順	画面
4	「セキュリティセンター」を選択する。	 <p>Excel のオプション</p> <p>基本設定 数式 文章校正 保存 言語 詳細設定 リボンのユーザー設定 クイック アクセス ツール バー アドイン セキュリティセンター</p> <p>Excel の使用に関する基本オプションを設定します。</p> <p>ユーザー インターフェイスのオプション</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 選択時にツールバーを表示する(M) ① <input checked="" type="checkbox"/> リアルタイムのプレビュー表示機能を有効にする(L) ① <input checked="" type="checkbox"/> 常に ClearType を使用する(I)</p> <p>配色(C): 総 ポップヒントのスタイル(S): ポップヒントに機能の説明を表示する</p> <p>新しいブックの作成時</p> <p>使用するフォント(N): 本文のフォント フォントサイズ(S): 11 新しいシートの既定のビュー(V): 標準ビュー ブックのシート数(S): 1</p> <p>Microsoft Office のユーザー設定</p> <p>ユーザー名(U): user1</p>
5	「セキュリティセンターの設定」ボタンを押下する。	 <p>Excel のオプション</p> <p>基本設定 数式 文章校正 保存 言語 詳細設定 リボンのユーザー設定 クイック アクセス ツール バー アドイン セキュリティセンター</p> <p>ドキュメントを安全に守り、コンピューターを正常で安全な状態に保ちます。</p> <p>プライバシーの保護</p> <p>Microsoft ではプライバシーの保護に配慮しています。Microsoft Excel におけるプライバシーの保護については、プライバシーに関する声明を参照してください。</p> <p>Microsoft Excel のプライバシーに関する声明を表示する Office.com のプライバシーに関する声明 カスタマー エクスペリエンス向上プログラム</p> <p>セキュリティと詳細情報</p> <p>プライバシー保護とセキュリティに関する Office.com からの詳細情報を表示します。</p> <p>Microsoft Windows セキュリティセンター 信頼できるコンピューティング</p> <p>Microsoft Excel セキュリティセンター</p> <p>セキュリティセンターではセキュリティとプライバシーに関する設定を行います。この設定により、コンピューターを保護することができます。この設定は変更しないことをお勧めします。</p> <p>セキュリティセンターの設定(I)...</p>
6	「ActiveX の設定」を選択する	 <p>セキュリティセンター</p> <p>信頼できる実行元 信頼できる場所 信頼済みドキュメント アドイン ActiveX の設定 マクロの設定 保護されたビュー タブレット バー 外部コンテンツ ファイル履歴機能の設定 プライバシー オプション</p> <p>すべての Office アプリケーションに適用する ActiveX センサー バーの設定</p> <p>センサー バーの表示</p> <p><input checked="" type="radio"/> ActiveX コントロールやマクロなどのアクティブ コンテンツがブロックされた場合、すべてのアプリケーションにセンサー バーを表示する(S) <input type="radio"/> ブロックされた内容に関する情報を表示しない(N)</p>

項番	手順	画面
7	「先に確認メッセージを表示してから、最低限の制限を適用してすべてのコントロールを有効にする」を選択し、「OK」ボタンを押下する。	
8	EXCELを閉じる	<p>開いている<u>全ての</u>エクセルファイルを閉じる。</p> <p>※全てのエクセルファイルを閉じることで変更した設定内容が有効になります。</p>

上記手順実施後、「資料1：Excelマクロの設定変更方法」を実施した後、「振込依頼書作成ツール」を起動してください。

(2) Excel 2007の場合

以下を参照し、「先に確認メッセージを表示してから、最低限の制限を適用してすべてのコントロールを有効にする」に変更してください。

<http://office.microsoft.com/ja-jp/products/HA010031067.aspx#BM12>

⇒「Excelの場合」に記載

(3) Excel 2003の場合

設定変更不要です。

(4) Excel 2000の場合

設定変更不要です。

以上